

—ライフサイエンスの革新を目指した構造生命科学と先端基盤技術— 研究領域

CREST/さきがけ合同成果報告会

生命を解き明かす ～タンパク質構造から見えてくる世界～



CREST 研究総括 田中 啓二
さきがけ研究総括 若槻 壮市



平成30年

1月26日(金) 13:00~13:30

入場
無料

ステーションコンファレンス東京(東京)

タンパク質の立体構造解析では、クライオ電子顕微鏡、高速 AFM、1分子解析など解析技術で大きなブレイクスルーがあり、新しい時代を迎えています。それまでは難しいといわれていた膜タンパク質や複合体の構造が明らかになり、構造情報から生命現象を解き明かし、「解く構造」から「使う構造」へと発展してきました。

CREST/さきがけ「ライフサイエンスの革新を目指した構造生命科学と先端基盤技術」では、革新的な解析技術を用いて、オートファジー、自然免疫受容体などの機能解明が進み、概日リズム、多剤排出ポンプ、ATP 受容体 P2X に関する創薬に結びつく成果も出されています。この領域の成果を多くの生命科学研究者に知っていただき、「構造生命科学」のさらなる発展を目的に、CREST/さきがけ構造生命研究領域合同成果報告会“生命を解き明かす～タンパク質構造から見えてくる世界～”を開催します。構造解析の技術相談も行いますので、これから構造解析をはじめたい方、「使う構造」がライフサイエンス研究にどんなメリットをもたらすのか知りたい方など、多くの方々の参加をお待ちしています。

講演の部

13:00～

- 廣田 毅 (名古屋大学)・川村 清 (ラクオリア創薬)
- 野田 展生 (微生物化学研究会)
- 服部 素之 (復旦大学)・田中 英一 (旭化成ファーマ)

14:55～

- 清水 敏之 (東京大学)
- 村田 武士 (千葉大学)・木下 正弘 (京都大学)
- 山口 明人 (大阪大学)

技術紹介の部

16:25～

- X線結晶構造解析：西増 弘志 (東京大学)
- クライオ電子顕微鏡：藤井 高志 (理化学研究所)
- NMR：竹内 恒 (産業技術総合研究所)
- 高速 AFM：古寺 哲幸 (金沢大学)
- 1分子解析：渡邊 力也 (東京大学)

場所

ステーションコンファレンス東京 (5階 501A,B他)
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-7-12
サピアタワー 4～6F
TEL 03-6888-8080 HP <https://www.tstc.jp/tokyo/>
JR 東京駅日本橋口直結

参加申込登録

参加登録ページよりお申込みください。
<https://form.jst.go.jp/enquetes/sls29>

